

資格を生かす

麻布大学は環境系資格が最も多く取れる大学です

4つの環境系国家資格、5つの任用資格、理科教員免許(高校・中学)、社会調査士の取得が可能です。これらの資格は就職はもちろん、将来のキャリアアップにも役立つことができます。

環境科学科で取得可能な資格

国家資格

- 第一種衛生管理者
- 石綿作業主任者
- 特定化学物質作業主任者
- 有機溶剤作業主任者

任用資格*

- 環境衛生監視員
- 環境衛生指導員
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者

その他

※所定の単位を修得し、卒業後その資格に関連する職務に就いた場合に、申請して取得できる資格

学科の学びを生かして取得をめざす資格

国家資格

- 社会調査士
- 理科教員免許(高校・中学)
- 環境計量士(濃度関係)
- 放射線取扱主任者
- 公害防止管理者

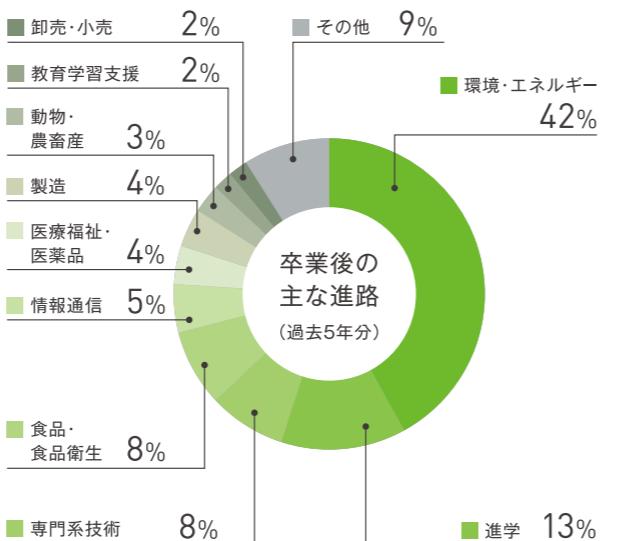
学びを仕事に

幅広い業種への就職実績

主な進路は、化学物質の検査や評価を行う環境分析技術職、環境保全の調査や企画立案、制度設計などを行う環境コンサルティング、環境資源の回収やインフラ管理に携わる環境保全エンジニア、化学・医療機器や水処理装置・プラントなどを製造・販売・運転管理する環境関連装置メーカーで、一部の学生は高校・中学教員や公務員になっています。

就職率
(過去5年実績)

93.4%



就職先・進学先(過去5年分)

環境・エネルギー	JR東日本環境アクセス/アース環境サービス/イカリ消毒/いであ/環境総合研究所/環境未来/三友プラントサービス/シー・アイ・シー/ジオテクノス/相鉄企業/野村マイクロ・サイエンス など
進学	麻布大学大学院/京都大学大学院/琉球大学大学院 など
食品・食品衛生	足柄乳業/スターゼン/まるか食品 など

医療福祉・医薬品	池田理化/中北薬品/富士薬品 など
動物・農畜産	JA湘南/伊豆の国農業協同組合(現 JAふじ伊豆)
教育学習支援	川崎市教育委員会/宮城県教育委員会/梅光学院中学校・高等学校 など
その他	大東建託/羽田旅客サービス など

PICK UP JOB!

環境分析技術者

環境保全のプロとして、大気汚染や水質汚濁、騒音などを計測し、環境破壊や環境汚染の進行状況などを調査します。結果を参考に分析を行い、有害物質から人や環境を守る大切な役割を担います。

環境コンサルタント

大規模開発が行われる際、周辺にどのような影響が起くるかを事前に調査・予測し、その影響を最小限に抑えるため助言や指導を行います。地域住民の相談に応じるなど、業務内容も多岐にわたります。

地方公務員

大学で身につけた専門性やスキルを公的に生かせる仕事が環境衛生監視員です。環境衛生関連施設における許認可事務や立ち入り検査を行います。一方で、採用数の多さから一般行政職に携わる卒業生もいます。



環境科学科特設サイト

環境科学科Twitter

資料の請求・受験に関するご質問は
「麻布大学 入試広報課まで」

TEL 042-769-2032

MAIL nyushi@azabu-u.ac.jp(入試広報課)

<https://www.azabu-u.ac.jp/>

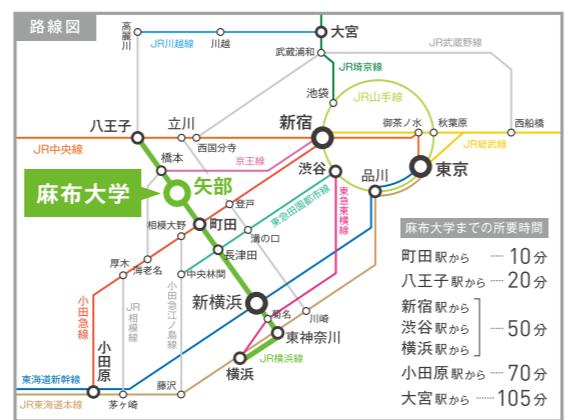


〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線 矢部駅 下車

北口から 歩き 4 分

*お車でのご来場はご遠慮ください。



生命・環境科学部

環境科学科

ENVIRONMENTAL SCIENCE

麻布大学
AZABU UNIVERSITY



環境は 今が一番面白い

環境の学びは幅広い
だから可能性が広がる

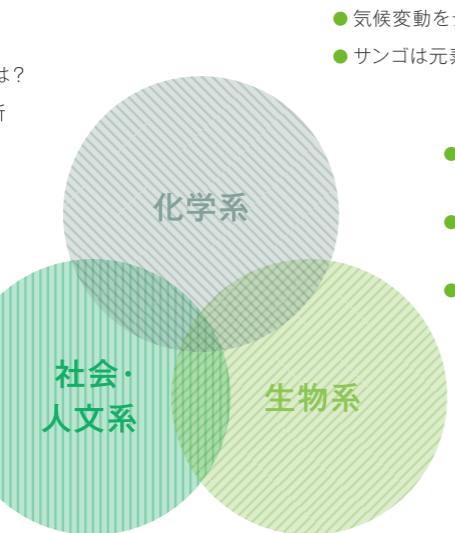


- 廃棄家電からの金属溶出量は?
- X線で土壤の有害物質を分析
- 河川の新たな汚染元素は?



- マイクロプラスチックの環境影響は?
- SDGsの自分ごと化
- ペットとの共生

- 市民の環境意識調査
- 「企業×学生」で環境や地域の課題解決に挑む



環境科学科は
生物学と化学を基盤に
環境を幅広く学ぶ
学科です

学科の特色

POINT 1

「未来の環境」をまもる多彩な学び

気候、水、土壤、動植物、生態系、社会など、環境に関わる多彩な分野を学ぶことで、人と動物と環境の共生を実現する知識と技術を身につけます。

POINT 2

徹底した実学主義。

豊富な実習と資格取得で実践力を育成

学内での実験から野外のフィールドワークまで、豊富な実習で確かな技能を培います。授業の約3割が実習・演習科目であるほか、多くの環境系資格の取得が可能なカリキュラムとなっています。

POINT 3

SDGsを実現するための先進的な取り組み

SDGsの実現のため、企業や行政の環境課題に対し、学生が連携して解決に取り組むPBL型学習を推進しています。学生がさまざまな課題を自ら発見し、その解決策の提案に取り組みます。

気候変動、外来種による生態系へ影響、
野生動物による農作物被害、河川・土壤汚染など、
環境を取り巻く問題は、近年ますます多様化しています。
本学科では、生物学や化学を基盤に身近な生活環境から
将来の環境課題までを幅広く学び、
持続可能な環境を支える技術と専門知識を学びます。

下記はほんの一例です。
もっと詳しい内容は
環境科学科ホームページまで



- 気候変動をデータサイエンスで解明
- サンゴは元素をどのように摂取する?



- 微生物で化学物質の発がん性を予測
- 水道水による細菌感染症を防ぐには?
- 植物の進化解明から生物多様性の保全へ



- 寄生虫で生態系を調べる!
- 野生動物と人との共生を図る
- 外来種による人や環境への影響を調査する



入学から就職まで徹底した4つのサポート

SUPPORT 1 不安解消をサポート

2人のクラス担任が入学から卒業まで一貫してサポート

SUPPORT 3 研究をサポート

卒業論文では3年次から2年間、教員の熱心かつ、きめ細かな指導で成長を実感

SUPPORT 2 基礎力をサポート

教育推進センターによる徹底した個別学習相談

SUPPORT 4 学費をサポート

日本学生支援機構奨学金のほか、麻布大学独自の2種類の奨学金制度、さらに成績優秀者への給付型奨学金制度で学生生活を手厚くサポート



研究室一覧 LABORATORY LIST

環境科学科

環境分析学研究室

環境中の微量な化学物質を分析・モニタリングし、環境の健康状態を診断する

教授:伊藤 彰英／准教授:中野 和彦

研究テーマ

河川や土壤、生体中の化学物質の分析・モニタリング

最新の分析装置で、河川や土壤、生体試料に含まれる極微量な化学物質を分析する技術開発や、環境への影響を診断する研究を行っています。

研究対象 河川、マイクロプラスチック、土壤、生体中の極微量元素

地域社会学研究室

社会調査を通じて居心地の良いコミュニティを見つけましょう

教授:大倉 健宏

研究テーマ

社会調査法、ペットフレンドリーなコミュニティ、社会疫学調査

動物を間に挟んだ人と人の関係を、地域社会調査を通じて明らかにします。

研究対象 地域社会、ドッグパーク、海外調査

地域環境政策研究室

持続可能な地域づくりのための学びと研究、実践を一切合切やってみよう

准教授:村山 史世

研究テーマ

持続可能性、主体的な学び、市民自治、SDGsの自分事化、デジタル・マッピング

持続可能な地域づくりの知識と手法を体験的に学び、自ら創造します。

研究対象 里山、公園、デジタルマッピング、ワークショップ、SDGs、法

学部共通

国際コミュニケーション研究室

ビジネスと学術で生かせる実践英語のトレーニング

教授:伊藤 彰英(兼務)
講師:ジョナサン・リンチ、城山 光子

研究テーマ

英語教育

ビジネス英語、学術英語、科学英語を教育しています。

研究対象 英語

フィールドワーク研究室

動物の行動を理解し動物と人の共生を実践する

教授:江口 祐輔
准教授:西脇 洋一

研究テーマ

野生動物の行動、鳥獣害対策、野生動物と人との共生

動物の行動や心理を理解した上で、動物と人との軋轢を解消する手法を考え、動物と人との共生をめざしています。

研究対象 野生動物、外来種、家畜

数理・データサイエンス研究室

データサイエンスを駆使して新しい価値観を創生するための人材育成

教授:伊藤 彰英(兼務)
准教授:西脇 洋一

研究テーマ

データサイエンス教育

人工知能を中心としたデータサイエンスを学習するためのICT教材開発などを行っています。

研究対象 データサイエンス、人工知能、ICT教材

教職課程研究室

環境・科学を教育の視点で見つめ直そう!

教授:小玉 敏也、福井 智紀

研究テーマ

環境教育学、ESD論(持続可能な開発のための教育)、理科教育学、科学教育学

理科教育や環境教育に関する教材開発や、社会教育施設における教育活動のあり方を検討しています。

研究対象 学校、教材、動物園・水族館